

令和7年9月1日
岐阜県立飛騨高山高等学校
国土交通省 高山国道事務所

ビオトープでトンボ類調査および特定外来植物駆除 ～飛騨高山高校と生息調査・特定外来植物駆除を行います～

PRポイント

高校生と協働でトンボ類の生息調査や特定外来植物駆除を行うことで、生息環境の保全に取り組みます。

1. 概要： 飛騨高山高校の2年生34名が環境学習の一環として、高山西ICに設けたビオトープで、初秋に見られるトンボ類の調査と特定外来植物の駆除を行います。
2. 日時： 令和7年 9月 8日(月)
13:30～15:30【予備日：9月12日(金)同時刻】
3. 場所： 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
ビオトープ“飛騨の森再生”（高山市清見町牧ヶ洞地内）
4. 参加者： 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生 34名
5. 添付資料： 別紙ー1
6. 配布先： 高山記者クラブ
7. 問合せ先： 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス 環境科学科 金桶 満(かねおけ みつる)
TEL 0577-33-1060
FAX 0577-32-8994
国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
計画課長 田村 道雄(たむら みちお)
建設監督官 池田 源一(いけだ げんいち)
TEL 0577-36-3822
FAX 0577-36-3801
8. 取材申込： 事前に、以下のURL、または2次元コードよりお申し込みください

▼URL

<https://forms.office.com/r/kjnmDxDicE>

▼2次元コード



別紙一 1

学習内容

今回は、環境科学科の2年生34名が参加し、ビオトープ内において初秋に見られるトンボ類の観察と特定外来植物であるオオハンゴンソウの駆除を行います。

トンボ類調査では、トンボ類の採集方法やその分類を学ぶとともに、トンボ類を指標とした生息環境の評価を試みます。

特定外来植物駆除

去年に引き続きオオハンゴンソウの駆除を実施します。オオハンゴンソウは再生能力が高いため、繰り返しの駆除を実施することで、より大きな抑制効果が期待でき、将来に向けたビオトープの環境維持が容易になります。

これまでの学習状況



トンボ採集の状況(令和6年9月)



採集したトンボの確認(令和6年9月)



オオハンゴンソウの駆除作業



駆除したオオハンゴンソウ等の外来植物

高山西ICのビオトープで見られるトンボ類

平成16年11月完成以降のビオトープでの生物モニタリング調査により、計33種のトンボが確認されています。

【トンボ科】



アキアカネ
平地～山地の水田や池、湿地に広く生息。
夏は涼しい山地に移動し、秋になると平地に戻る。

【ヤンマ科】



オオルリボシヤンマ
平地～山地の周囲に樹林のある抽水植物や浮葉植物の繁茂する池沼に生息。
高山の池などでもみられる。

【イトトンボ科】



キイトンボ
平地～山地の抽水植物の繁茂する沼地・湿地に生息。
放棄水田や土砂採取跡地に生じた湿地でもみられる。